

生産者と栽培責任者が同一の場合は「同左」とご記入ください。

様式 1-1 栽培計画書①

生産者		栽培責任者	
住所：〒 茨城県水戸市 1 1 氏名：茨城 太郎 電話：029-11-1111 Fax：029-11-1111		住所：〒 茨城県水戸市 2 2 2 氏名：J A茨城 水稻部会 電話：029-22-2222 Fax：029-22-2222 (日中連絡が可能な番号 携帯・fax等) 090-2222-1111	
確認責任者		現地確認内容	予定年月日
住所：〒 茨城県水戸市 3 3 3 3 氏名：土浦 太郎 印 電話：029-33-3333 Fax：029-33-3333 (日中連絡が可能な番号 携帯・fax等) 090-1111-2222		ほ場確認	平成 2 8 年 6 月上旬
		管理状況確認	平成 2 8 年 7 月中旬
		収穫状況確認	平成 2 8 年 9 月中旬
ほ場所在地 ^{*1} 及び面積 (a)		農産物名(作型 ^{*2})	予定出荷量
別紙	面積は、ほ場番地と面積(a)を任意様式にご記入ください。	米	59,080 kg
		<合計 420 a >	()
栽 培 計 画			
は種または定植： 平成 28 年 4 月(上旬)	収穫： 平成 28 年 9 月(上旬)～平成 28 年 9 月(下旬) 予想収穫量 60,230 kg (自家消費等 1,150 kg)		
出 荷 計 画			
出荷予定期間： 平成 28 年 9 月(上旬)～平成 28 年 9 月(下旬)			
主な出荷予定先(市場、直売所名など)： J A茨城			

米(ふくまる)のみ品種名を記入してください。

- ※ 1：ほ場数が多い場合は、別紙にて一覧表を添付して下さい。
- ※ 2：作型は、「エコ農業茨城推進に関する農産物認証制度対象農産物並びに化学合成農薬及び化学肥料の使用基準」に記載されている作型をご記入下さい。
- ※ 3：予定出荷量と予想収穫量が異なる場合は、余白に理由(自家消費等)を記載して下さい。

肥料・土づくり等使用予定資材 ^{*4}				
商品名 (N-P-K成分の%)	化成合成された窒素成分 ^{*5} (A)	10a 当たり 使用量 (B)	10a 当たり化学合成窒素成分量 (C=A×B)	使用時期 ^{*6} (該当を○で囲む)
J A 水稻培土 (1.4-2.4-1.4g/箱)	1.4g/箱	15 箱	0.0210 kg/10a	<input checked="" type="checkbox"/> 育苗期 <input type="checkbox"/> は種前(本圃) <input type="checkbox"/> 定植前(本圃) <input type="checkbox"/> は種時(本圃) <input type="checkbox"/> 定植時(本圃) <input type="checkbox"/> 生育期 <input type="checkbox"/> 収穫期
どきどき有機一発 (12%-7%-5%)	6 %	50 kg/10a	3 kg/10a	<input type="checkbox"/> 育苗期 <input type="checkbox"/> は種前(本圃) <input checked="" type="checkbox"/> 定植前(本圃) <input type="checkbox"/> は種時(本圃) <input type="checkbox"/> 定植時(本圃) <input type="checkbox"/> 生育期 <input type="checkbox"/> 収穫期
牛糞堆肥 (%- %- %)	0 %	1000 kg/10a	0 kg/10a	<input type="checkbox"/> 育苗期 <input type="checkbox"/> は種前(本圃) <input checked="" type="checkbox"/> 定植前(本圃) <input type="checkbox"/> は種時(本圃) <input type="checkbox"/> 定植時(本圃) <input type="checkbox"/> 生育期 <input type="checkbox"/> 収穫期
(%- %- %)	%	kg/10a	kg/10a	<input type="checkbox"/> 育苗期 <input type="checkbox"/> は種前(本圃) <input type="checkbox"/> 定植前(本圃) <input type="checkbox"/> は種時(本圃) <input type="checkbox"/> 定植時(本圃) <input type="checkbox"/> 生育期 <input type="checkbox"/> 収穫期
【この作物の認証基準 3.2kg/10a】 10a 当たり合計化学合成窒素成分量 3.021 kg/10a(C項の累計)				

- ※ 4：化成肥料(窒素成分が明らかなもの)や、一般的な土壌改良材(苦土石灰、ようりんなど)以外の資材については、栽培責任者が、成分や原材料、製法等がわかる資料を、必ず添付して下さい。
- ※ 5：窒素成分のうち、有機配合肥料等に含まれる天然物質由来のものについては、提出された資料をもとに化学肥料の成分量から除外して計算することができます。(資料の提出がない場合は、化成肥料として扱います。)
- ※ 6：「育苗期」, 「生育期」, 「収穫期」の定義については、使用予定農薬の※11を参照して下さい。

様式 1 - 1 栽培計画書②

使用予定農薬 ^{※7}				
(D, Fは、有効成分のうち節減対象成分のみカウントする ^{※8})				
商品名 (有効成分名 ^{※9})	成分数 (D)	使用回数 ^{※10} (E)	成分の総使用回数 (F = D × E)	使用時期 ^{※11} (該当を○で囲む)
温湯消毒 ()	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ■ 消毒済(種子 or 苗)の購入 *種子, 苗の当てはまるものに○ ■ 種子消毒 ■ 育苗期 ■ は種前(本圃) ■ 定植前(本圃) ■ は種時(本圃) ■ 定植時(本圃) ■ 生育期 ■ その他(*具体的に記入)
ダコニール 1000 (TPN)	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ■ 消毒済(種子 or 苗)の購入 *種子, 苗の当てはまるものに○ ■ 種子消毒 ■ 育苗期 ■ は種前(本圃) ■ 定植前(本圃) ■ は種時(本圃) ■ 定植時(本圃) ■ 生育期 ■ その他(*具体的に記入)
ガゼット粒剤 (カルボスルファン)	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ■ 消毒済(種子 or 苗)の購入 *種子, 苗の当てはまるものに○ ■ 種子消毒 ■ 育苗期 ■ は種前(本圃) ■ 定植前(本圃) ■ は種時(本圃) ■ 定植時(本圃) ■ 生育期 ■ その他(*具体的に記入)
ダントツ粒剤 (クロチアニジン)	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ■ 消毒済(種子 or 苗)の購入 *種子, 苗の当てはまるものに○ ■ 種子消毒 ■ 育苗期 ■ は種前(本圃) ■ 定植前(本圃) ■ は種時(本圃) ■ 定植時(本圃) ■ 生育期 ■ その他(*具体的に記入)
【この作物の認証基準	成分】	合計有効成分回数		成分(F項の累計)

※7：農薬は、使用前に容器・ラベルの表示を必ず確認し、作物名、使用量・希釈倍率、使用時期、成分の総使用回数を守り、適正に使用して下さい。また、生産ほ場に計画外の農薬が飛散してくることがないように、周辺生産者との連携を図り、対策がされるようご注意ください。

※8：「有機農産物の日本農林規格(有機JAS)」の別表2に明記されている農薬、フェロモン剤、BT剤、特定防除資材、および展着剤は、成分回数に含めません。(ただし、殺虫成分を含むフェロモン剤は、成分カウントの対象となります。)

なお、上記以外の天然物質由来農薬は、製造メーカーや製造時期により化学合成されている場合があるため、化学合成でないことを証明できるメーカー資料を提出して下さい。(資料提出がない場合は、化学合成農薬と同様に扱います。)

※9：薬剤有効成分が複数ある場合、(○○○+△△△)のように記載して下さい。

※10：同一の農薬を複数回使用する場合は、使用回数(E)の欄に回数を記入し、使用時期の欄には、複数の時期に○をつけることもできます。

※11：購入した種苗については、種苗購入前の農薬使用状況も記入して下さい。(使用時期の欄の「消毒済(種子 or 苗)の購入」の種子又は苗の当てはまる方に○をつけて下さい。)

栽培者が種子消毒を行う場合は、種子消毒に○をつけて下さい。

なお、「育苗期」は「移植栽培では種から本圃への定植まで」を、「生育期」は「本圃への種・定植の翌日～収穫前日」を表しています。いずれにも該当しない場合はその他に○をし、()内に具体的な使用時期を記入して下さい。

また、収穫終了後の本圃に使用した場合は、直播栽培では「は種前(本圃)」, 移植栽培では「定植前(本圃)」に該当します。

・行が不足する場合は、本注釈欄を削除し、適宜行を追加してください。

様式 1 - 1 栽培計画書②

使用予定農薬 ^{※7}				
(D, Fは、有効成分のうち節減対象成分のみカウントする ^{※8})				
商品名 (有効成分名 ^{※9})	成分数 (D)	使用回数 ^{※10} (E)	成分の総使用回数 (F = D × E)	使用時期 ^{※11} (該当を○で囲む)
バッチリフロアブル, 1 キロ粒剤, ジャンボ (ピラクロニル, イマゾ スフロン, ブロモブチド)	3	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ■ 消毒済 (種子 or 苗) の購入 * 種子, 苗の当てはまるものに○ ■ 種子消毒 ■ 育苗期 ■ は種前(本圃) ■ 定植前(本圃) ■ は種時(本圃) ■ 定植時(本圃) ○ 生育期 ■ その他 (*具体的に記入)
()				<ul style="list-style-type: none"> ■ 消毒済 (種子 or 苗) の購入 * 種子, 苗の当てはまるものに○ ■ 種子消毒 ■ 育苗期 ■ は種前(本圃) ■ 定植前(本圃) ■ は種時(本圃) ■ 定植時(本圃) ■ 生育期 ■ その他 (*具体的に記入)
()				<ul style="list-style-type: none"> ■ 消毒済 (種子 or 苗) の購入 * 種子, 苗の当てはまるものに○ ■ 種子消毒 ■ 育苗期 ■ は種前(本圃) ■ 定植前(本圃) ■ は種時(本圃) ■ 定植時(本圃) ■ 生育期 ■ その他 (*具体的に記入)
()				<ul style="list-style-type: none"> ■ 消毒済 (種子 or 苗) の購入 * 種子, 苗の当てはまるものに○ ■ 種子消毒 ■ 育苗期 ■ は種前(本圃) ■ 定植前(本圃) ■ は種時(本圃) ■ 定植時(本圃) ■ 生育期 ■ その他 (*具体的に記入)
【この作物の認証基準 8 成分】 合計有効成分回数 6 成分(F項の累計)				

※7：農薬は、使用前に容器・ラベルの表示を必ず確認し、作物名、使用量・希釈倍率、使用時期、成分の総使用回数を守り、適正に使用して下さい。また、生産ほ場に計画外の農薬が飛散してくることがないように、周辺生産者との連携を図り、対策がされるようご注意下さい。

※8：「有機農産物の日本農林規格(有機JAS)」の別表2に明記されている農薬、フェロモン剤、BT剤、特定防除資材、および展着剤は、成分回数に含めません。(ただし、殺虫成分を含むフェロモン剤は、成分カウントの対象となります。)

なお、上記以外の天然物質由来農薬は、製造メーカーや製造時期により化学合成されている場合があるため、化学合成でないことを証明できるメーカー資料を提出して下さい。(資料提出がない場合は、化学合成農薬と同様に扱います。)

※9：薬剤有効成分が複数ある場合、(○○○+△△△)のように記載して下さい。

※10：同一の農薬を複数回使用する場合は、使用回数(E)の欄に回数を記入し、使用時期の欄には、複数の時期に○をつけることもできます。

※11：購入した種苗については、種苗購入前の農薬使用状況も記入して下さい。(使用時期の欄の「消毒済(種子 or 苗)の購入」の種子又は苗の当てはまる方に○をつけて下さい。)

栽培者が種子消毒を行う場合は、種子消毒に○をつけて下さい。

なお、「育苗期」は「移植栽培では種から本圃への定植まで」を、「生育期」は「本圃への種・定植の翌日～収穫前日」を表しています。いずれにも該当しない場合はその他に○をし、()内に具体的な使用時期を記入して下さい。

また、収穫終了後の本圃に使用した場合は、直播栽培では「は種前(本圃)」, 移植栽培では「定植前(本圃)」に該当します。

・行が不足する場合は、本注釈欄を削除し、適宜行を追加してください。